

DocuPrint 4400 d / DocuPrint 3500 d / DocuPrint 3200 d 簡単操作ガイド

知りたい情報を探す

はじめに、 簡単操作ガイド	本機の設置手順、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブル対処、および本体同梱メディア「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明しているマニュアルです。	<ul style="list-style-type: none"> • 本書 • 公式サイト
詳しくは、 ユーザーズガイド	本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しているマニュアルです。	<ul style="list-style-type: none"> • 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク • 公式サイト
最新情報は、 サポート情報	プリント操作手順、トラブル対処、消耗品などに関するよくある質問を確認できます。また、マニュアルのダウンロードなどができます。富士ゼロックス公式サイト of 「サポート」 からアクセスします。	<ul style="list-style-type: none"> • 公式サイト

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをお使いになる前に

ソフトウェアの使用許諾について

このメディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読み下さい。なお、皆様が開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万が一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

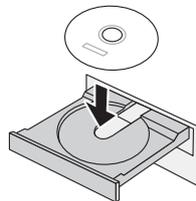
免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

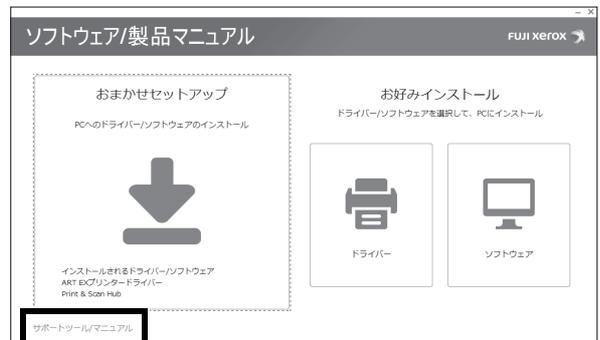
「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクでマニュアルを見る

Windows®

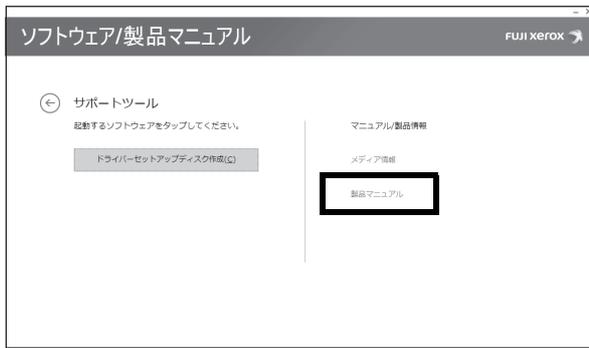
1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットする



2. [サポートツール/マニュアル] をクリックする



3. [製品マニュアル] をクリックする



4. [ユーザズガイド] をクリックする



- 💡 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの活用
- 本機の利用者がアクセスできる共有サーバーなどに、ディスクの内容をコピーして活用してください。

Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの以下の場所に格納されている index (index.html) をダブルクリックしてください。

[Manuals] > [Devicemanual] > [Japanese]

Web から最新情報を得る

サポート情報を確認する

1. 富士ゼロックスの公式サイトにアクセスする
<http://www.fujixerox.co.jp/>

- 💡 QR コードでアクセス
- お使いのスマートフォンやタブレット端末で次の QR コードを読み込んでアクセスすることもできます。



マニュアルを見る

1. マニュアル掲載ページにアクセスする
https://www.fujixerox.co.jp/support/manual/printer/docuprint_4400_d/manu.html
2. 利用条件を確認し、[同意します] をクリックする
3. 必要なマニュアルの [ダウンロード] をクリックする

ソフトウェアをダウンロードする

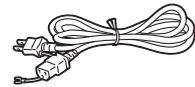
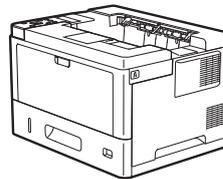
1. 富士ゼロックスの公式サイトにアクセスする
<http://www.fujixerox.co.jp/>
2. メニューから [ダウンロード] をクリックする
3. お使いの機種、OS、および必要なソフトウェアを選ぶ
4. [使用許諾条件に同意しダウンロード] をクリックする

本機のセットアップ

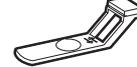
- 💡 ● 本機をセットアップする前に、「安全にご利用いただくために (P.14)」をお読みください。

1. 同梱物を確認する

- プリンター本体
- 電源コード
- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスク



- 昇降レバー
- 清掃棒
- 固定用テープ (1 セット)

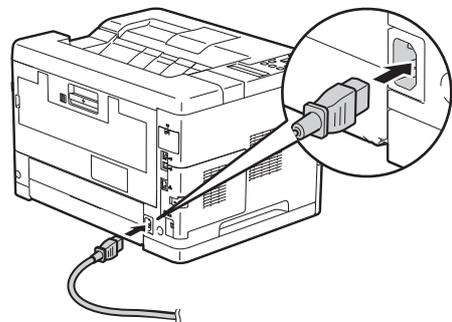


ビニール袋に入っています。
固定用テープを使って、ビニール袋を本機の右側面に固定してください。

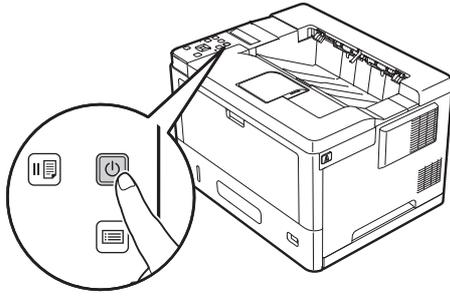
- 簡単操作ガイド (本書)
- 保守連絡先カード
- 保証書



2. 電源コードを接続する

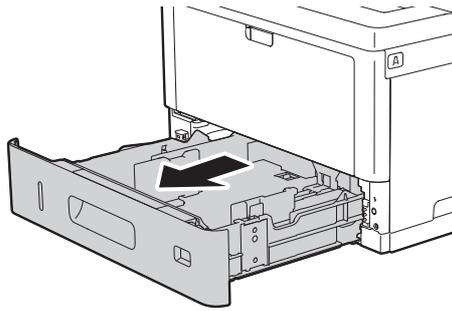


3. 本機の電源を入れる

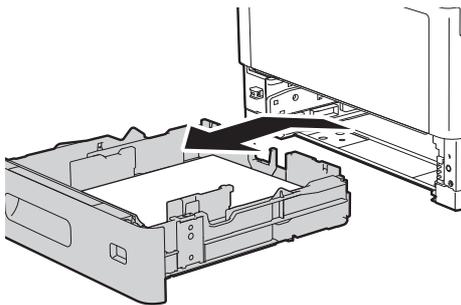


4. 用紙をセットする

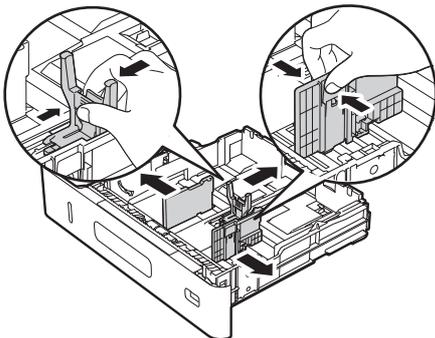
① トレイを引き出す



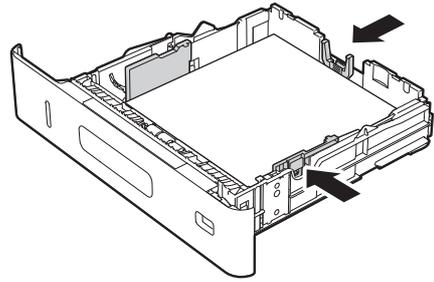
② トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜く



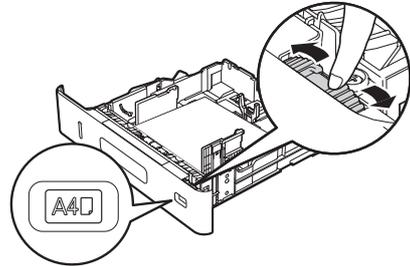
③ 2箇所用の紙ガイドをつまみながら、それぞれ用紙サイズに合った位置まで移動する



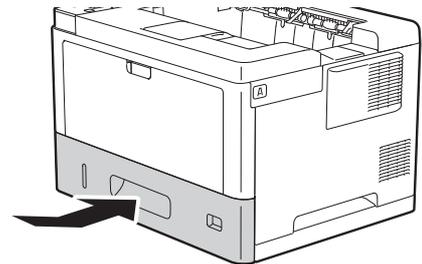
④ 用紙をよくさばいてから、プリントする面を下にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットする



- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
 - 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
 - トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- #### ⑤ セットした用紙に合わせて、用紙サイズ設定ダイヤルを回す



- 用紙サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙のサイズと同じ用紙サイズに合わせてください。異なる用紙サイズに合わせてると、用紙サイズを正しく認識できません。
 - 用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを[*]に合わせ、操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタン > [プリント設定] > [ダイヤルスイッチ設定] で用紙サイズを設定してください。
- #### ⑥ 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込む



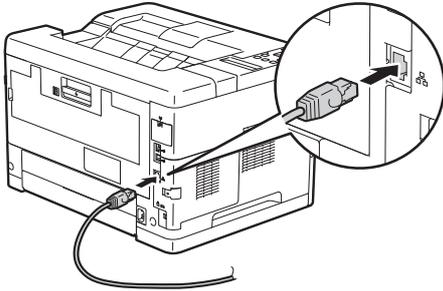
- トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

5. コンピューターに接続する

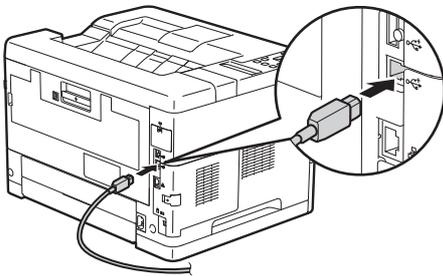
無線 LAN 接続

- 無線 LAN キット (オプション) が必要です。『ユーザーズガイド』を参照してください。

有線 LAN 接続



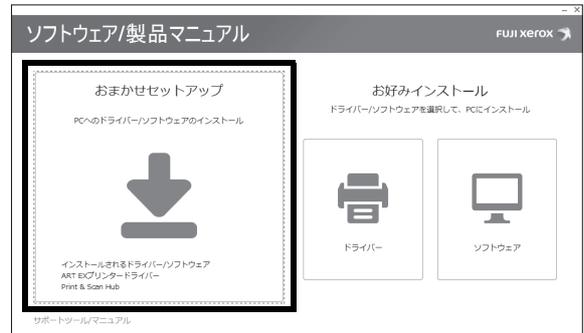
USB 接続



ソフトウェアのインストール

Windows®

1. コンピューターに「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをセットする
2. [おまかせセットアップ] をクリックする



3. 画面の指示に従ってインストールを完了する

必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、[お好みインストール] を選びます。詳しくは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

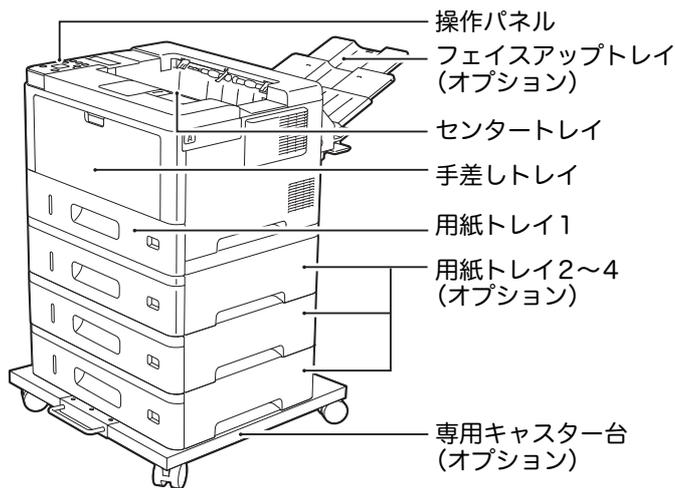
Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの以下の場所に格納されている Mac 用のマニュアルを参照してください。

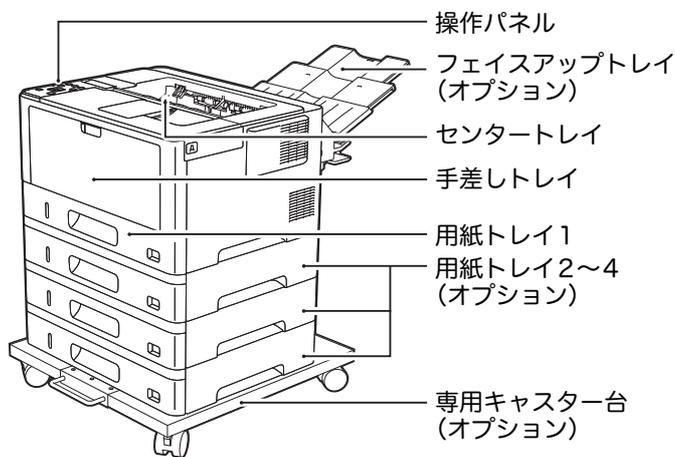
[Manuals] > [Mac] > [Japanese]

各部の名称

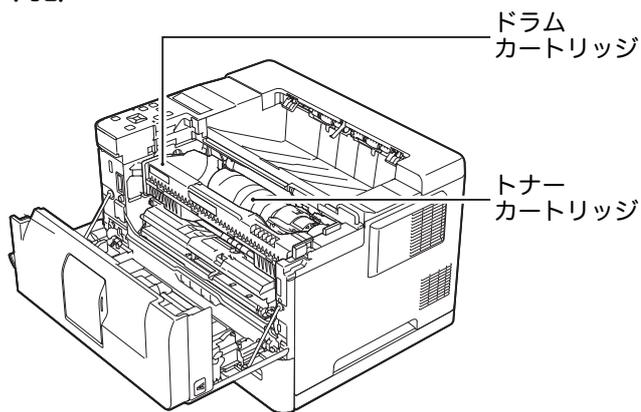
前面 (DocuPrint 4400 d)



前面 (DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d)



内部

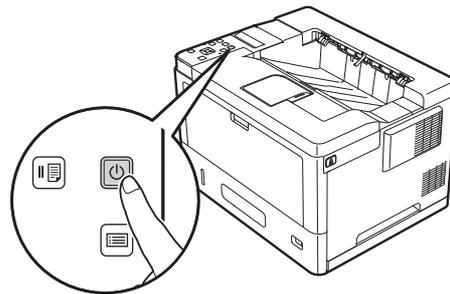


イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

電源について

電源を入れるとき

1. 電源 ボタンを押す

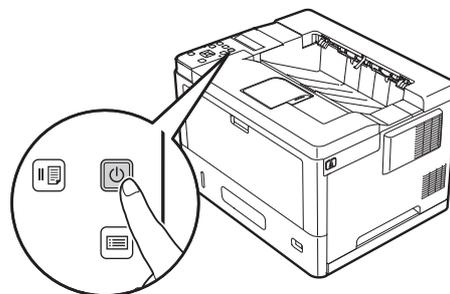


電源を切るとき



- 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- プリント中は本機の電源を切らないでください。紙詰まりの原因になります。
- 電源を切ると、本機内に残っているプリントデータや本機のメモリーに蓄えられた情報は消去されます。
- 電源 ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています (電源 ボタン点滅)。再度、電源を入れる場合は、電源 ボタンが完全に消灯してから入れてください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. 電源 ボタンを押す

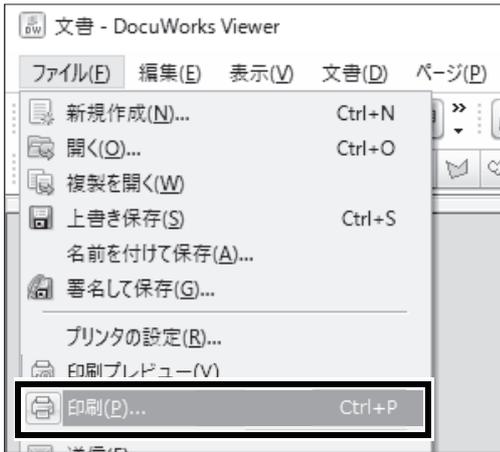


2. ディスプレイに [電源を切る] が表示されていることを確認し、OK ボタンを押す

プリントのしかた

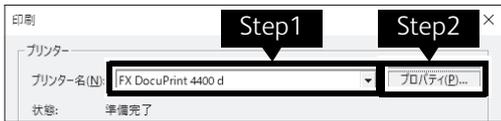
ここでは、Windows® 10 を例に手順を説明します。

1. コンピューターからプリントを指示する



2. プリンターとプロパティを設定する

● 必要に応じて、各タブで機能を設定します。



3. [OK] をクリックする

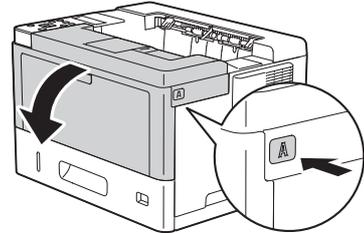


消耗品の交換

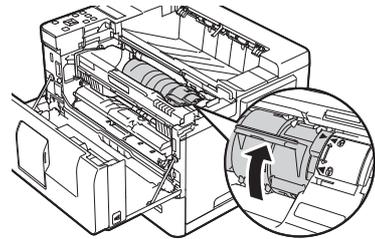
トナーカートリッジの交換

- トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- トナーカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

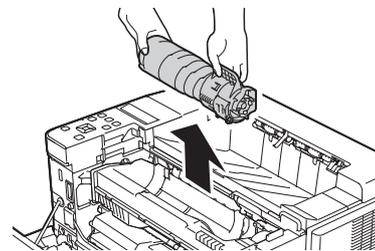
1. Aボタンを押してフロントカバーを開ける



2. トナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除する

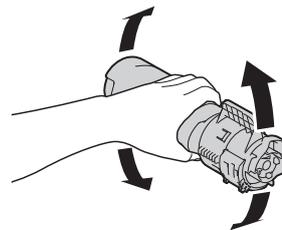


3. トナーカートリッジをゆっくり取り出す

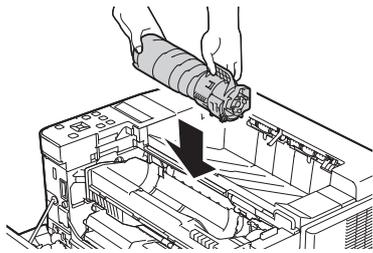


- 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

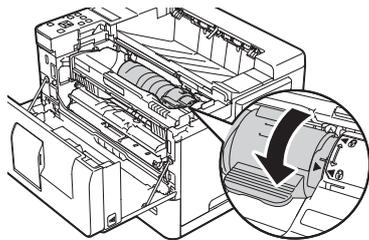
4. 新しいトナーカートリッジを用意し、軽く10回振る



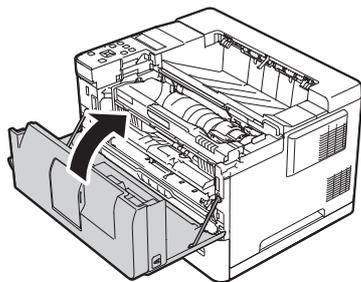
5. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込む



6. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックする



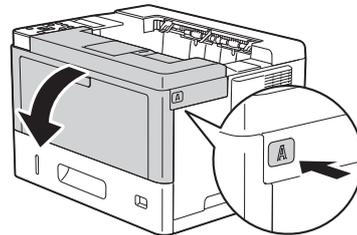
7. フロントカバーを閉じる



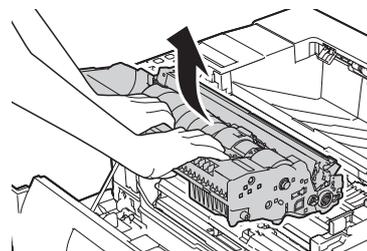
ドラムカートリッジの交換

- ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。

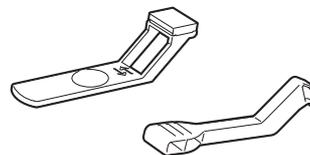
1. Aボタンを押して、フロントカバーを開ける



2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く

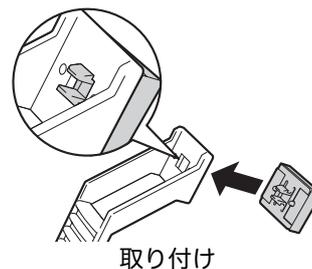
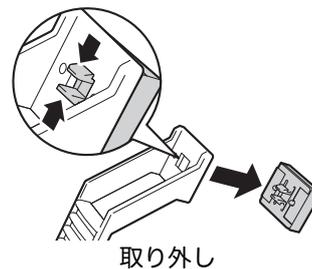


3. 本機に付属の清掃棒と昇降レバーを用意する



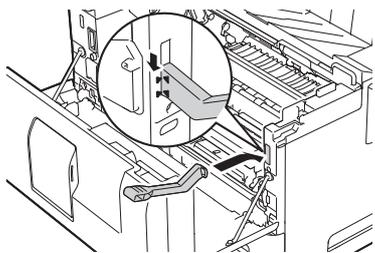
- 使用後は、無くさないよう大切に保管してください。

4. 清掃棒の清掃パッドを交換する

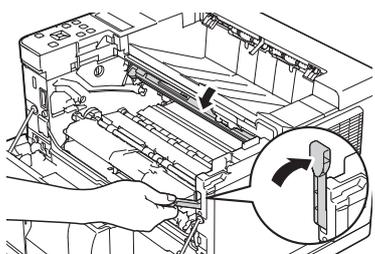


- 清掃パッドは交換用のドラムカートリッジに同梱されています。

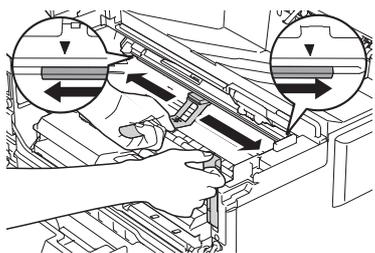
5. 本機の▲マークと合わせながら、昇降レバーを挿入する



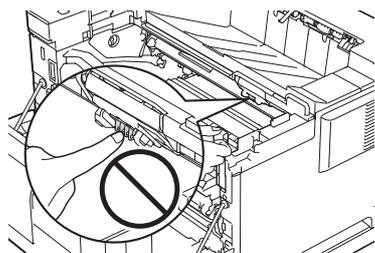
6. 昇降レバーを上げて、プリントヘッド部を下げる



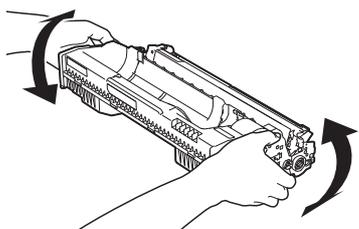
7. 清掃棒のパッド部分をLEDプリントヘッド（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭く
清掃後は、昇降レバーを取り外す



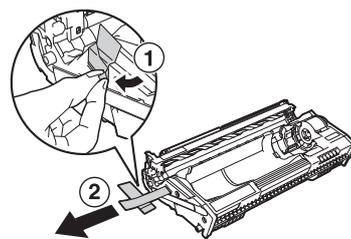
- 💡 ●端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



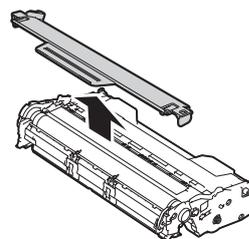
8. 新しいドラムカートリッジを用意し、8回振る



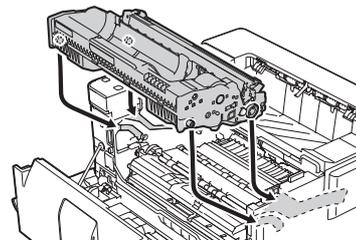
9. テープをはがし (①)、ヒートシールをまっすぐ引き抜く (②)



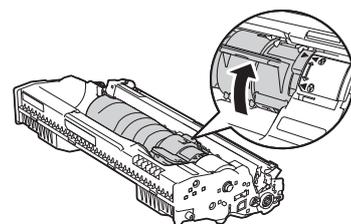
- 10.ドラムカートリッジを裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外す



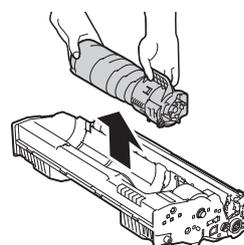
- 11.ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む



- 12.古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジの取手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除する

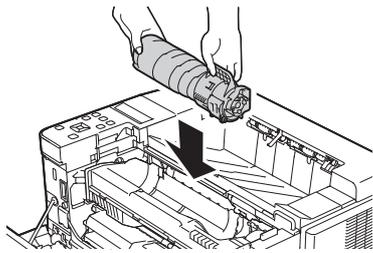


- 13.トナーカートリッジをゆっくり取り出す

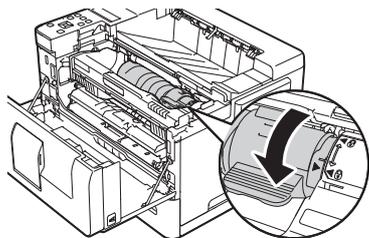


- 💡 ●使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

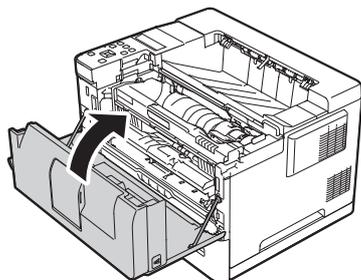
14. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込む



15. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックする



16. フロントカバーを閉じる



紙づまりの処置

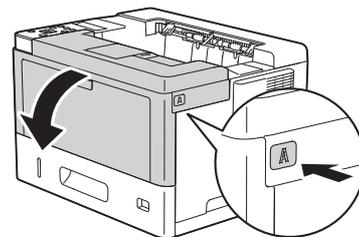
用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルのⓀ〈エラー〉ランプが点灯し、ディスプレイにメッセージが表示されます。

紙づまりの位置を操作パネル左上の概観図で確認し、詰まっている用紙を取り除いてください。

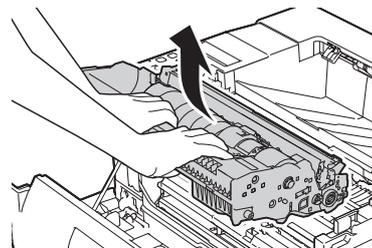
フロントカバー [A] での紙づまり

奥側に用紙が詰まっている場合

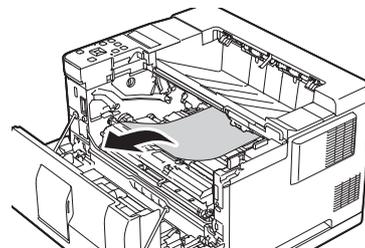
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



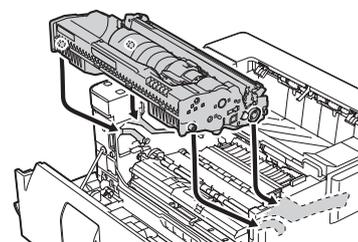
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



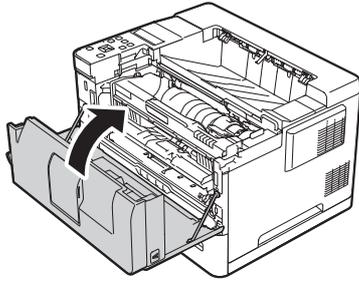
3. 詰まっている用紙を取り除く



4. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

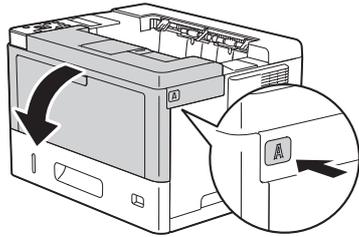


5. フロントカバーを閉じる

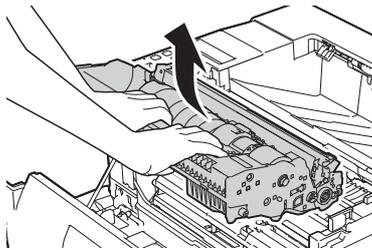


A1 部に用紙が詰まっている場合

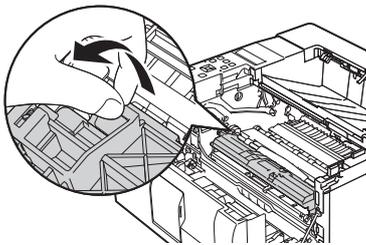
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



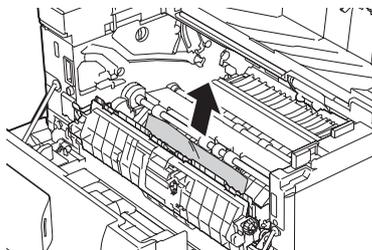
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



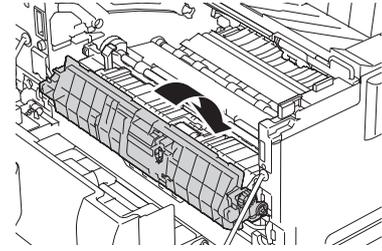
3. A1 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



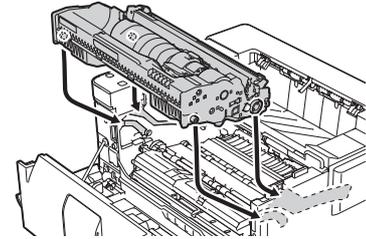
4. 詰まっている用紙を取り除く



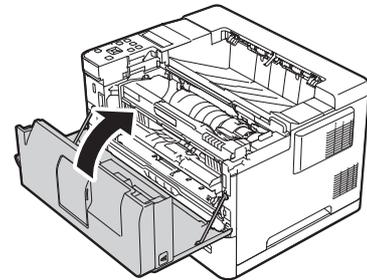
5. A1 部を閉じる



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

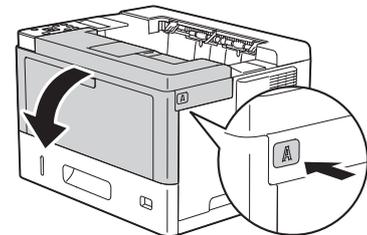


7. フロントカバーを閉じる

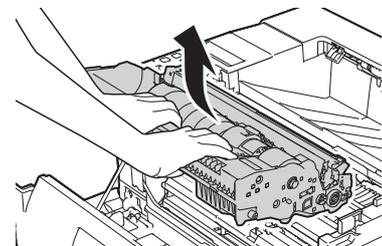


A2 部の下に用紙が詰まっている場合

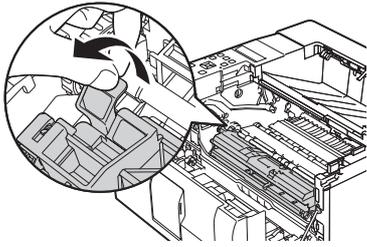
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



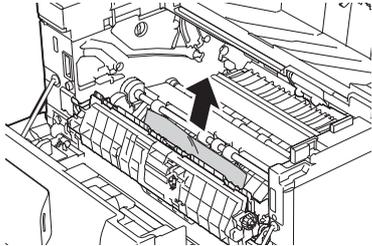
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



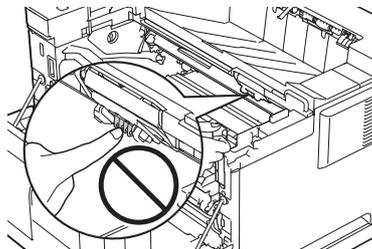
3. A2 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



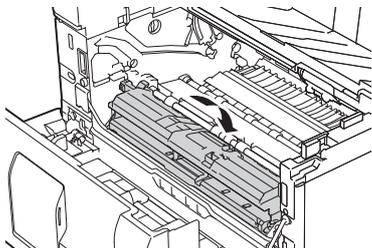
4. 詰まっている用紙を取り除く



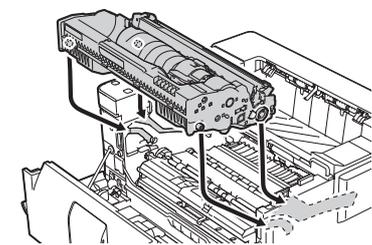
●端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



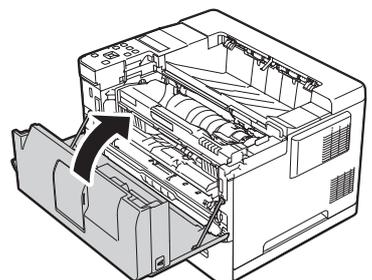
5. A2 部を閉じる



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

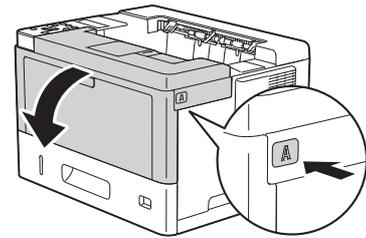


7. フロントカバーを閉じる

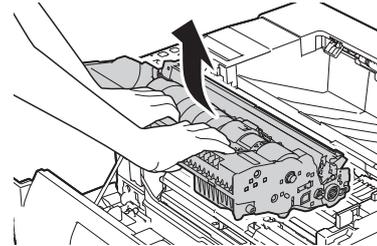


用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合

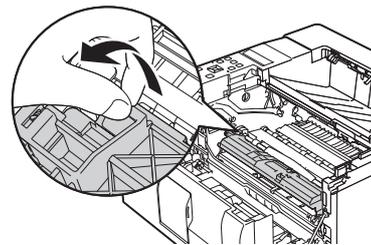
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



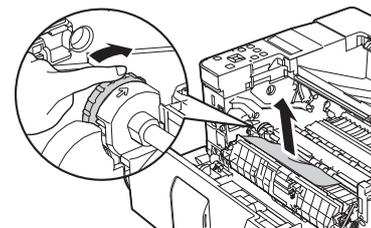
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



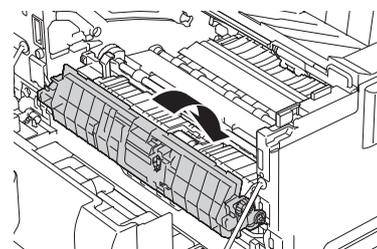
3. A1 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



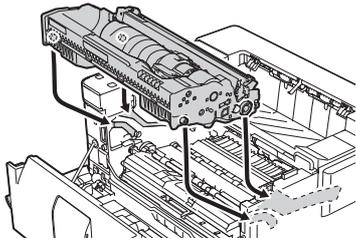
4. 図の位置にある緑色のホイールを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除く



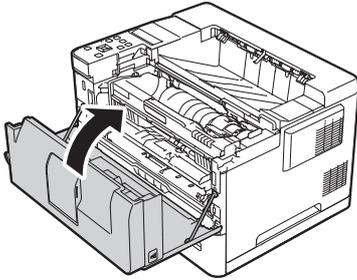
5. A1 部を閉じる



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

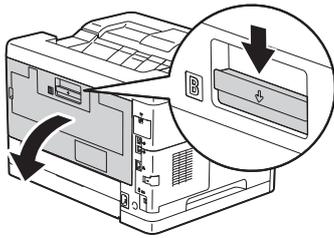


7. フロントカバーを閉じる



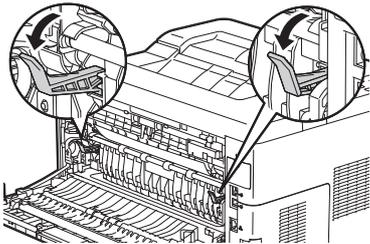
リアカバー [B] での紙づまり

1. B レバーを押して、リアカバーを開ける



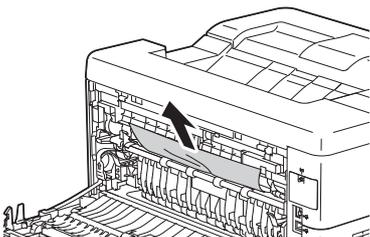
- 💡 ●フェイスアップトレイ (オプション) を装着している場合は、リアカバーを開ける前に取り外してください。

2. 定着ユニットの両端にある緑色のレバーを下げる

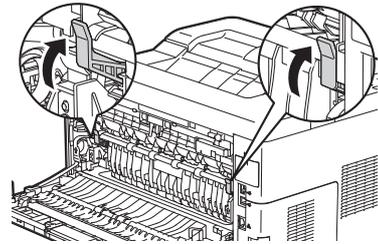


- 💡 ●定着ユニットは高温になっています。触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

3. 詰まっている用紙を取り除く



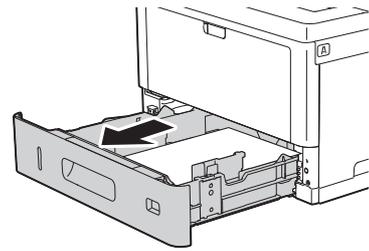
4. 緑色のレバーを戻す



5. リアカバーを閉じる

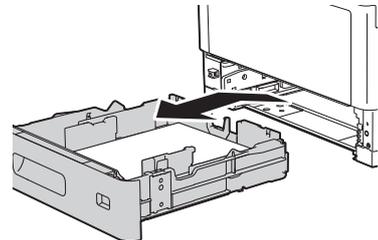
用紙トレイ 1 ~ 4 での紙づまり 両面シュートに用紙が詰まっている場合

1. 用紙トレイ 1 を引き出す

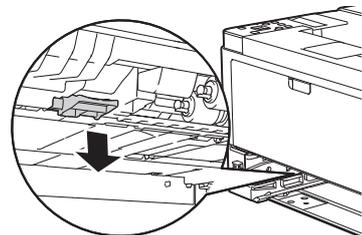


- 💡 ●用紙トレイ 2 ~ 4 はオプションです。
●メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから順に確認してください。
●2つ以上のトレイを同時に引き出さないでください。本機が転倒する可能性があります。

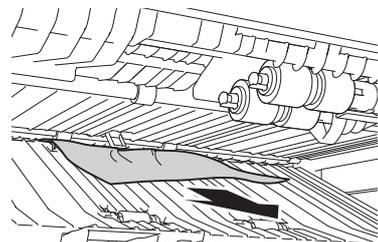
2. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜く



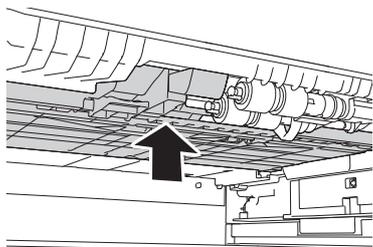
3. 図の位置にある緑色のレバーを押して両面シュートを下ろす



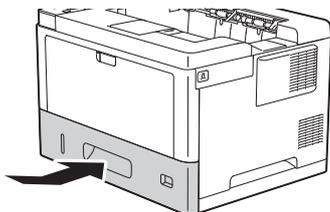
4. 詰まっている用紙を取り除く



5. 両面シュートを戻す

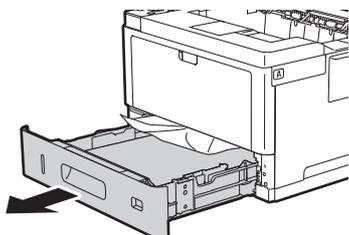


6. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ1をゆっくりと押し込む



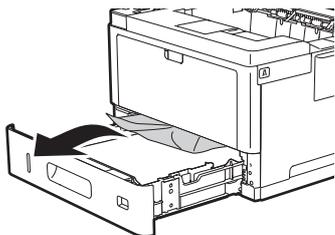
用紙トレイ内に用紙が詰まっている場合

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出す



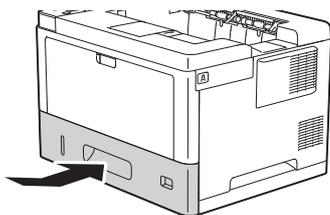
💡 ● 紙詰まりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。

2. 詰まっている用紙を取り除く



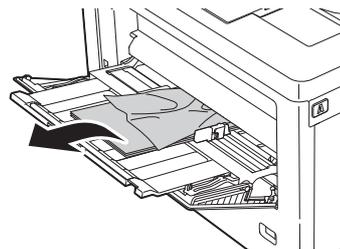
💡 ● 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



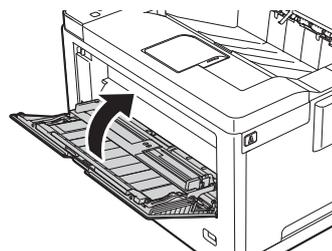
手差しトレイでの紙詰まり

1. 手差しトレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除く

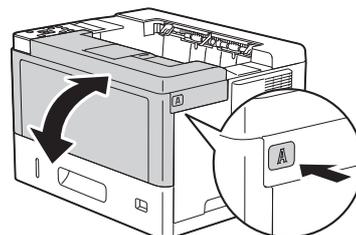


💡 ● 用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。
● 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2. 手差しトレイを閉じる



3. Aボタンを押してフロントカバーを開け、閉じる



エラーコードが表示されたときは

エラーコードを公式サイトで確認する

1. 富士ゼロックスの公式サイトにアクセスする
<http://www.fujixerox.co.jp/>

2. ページ上部の検索ボックスにエラーコードを入力して検索する

3. ページ内の指示に従って設定し、[エラーコード検索] をクリックする

1.エラーコードを入力してください。
例: 012-345
エラーコード:
注: 0940の場合、「94」ではなく「094」と必ず「0」を含んだコードを入力してください。
また、コードは半角文字で入力してください。

2.ご使用の商品を入力してください。
商品名:

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
        <small>静電気 破損注意 注意 発火注意 破裂注意 感電注意 高温注意 回転物注意 指挟み注意</small>	
⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
       <small>禁止 火気禁止 接触禁止 風呂等での使用 禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止</small>	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	
   <small>指示 電源プラグを抜く アース線を接続せよ</small>	

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを850mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事(D種)を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

⚠ 同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

⚡ 機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

⚡ 機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

⚡ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

⚡ 連休などで長期間、機械を使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

⚡ 1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
 - ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
 - ・電源コードにきれつや擦り傷などがないか。
- 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

⚠ 警告

⚡ 機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

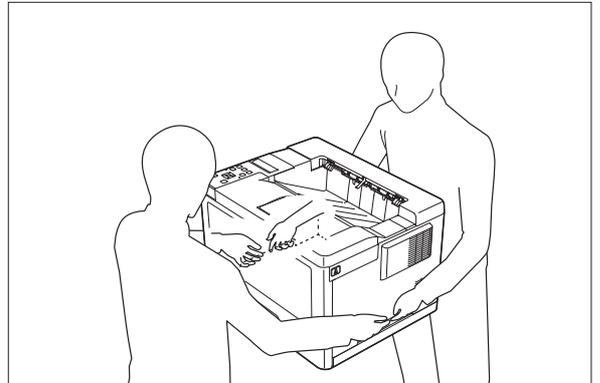
⚠ 注意

- ⚡ 以下のような場所には機械を設置しないでください。
- ・発熱器具に近い場所
 - ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・調理台や加湿器のそばなど

⚡ 機械の包装に使用している袋/シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。

⚡ 機械の重さは20.2 Kg (DocuPrint 4400 d)、18.6 Kg (DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d) です。必ず2人以上で持ち運んでください。

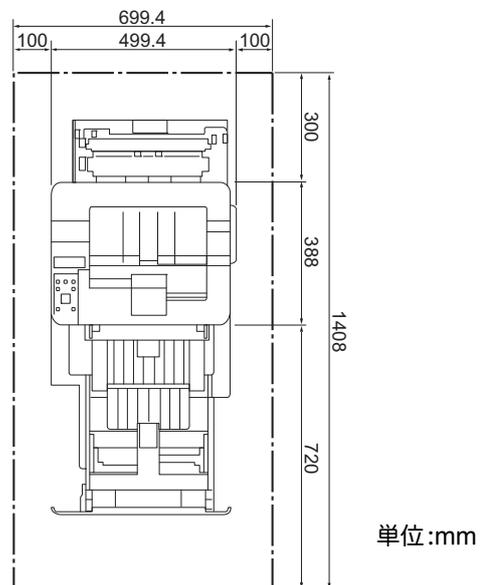
⚡ 機械を持ち上げるときは、腰を痛めないよう、ひざを折り、指示された手かけ部分を持ってから立ち上がるようにしてください。



⚡ 機械は、付属製品を含めた総質量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

⚡ 機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



⚡ 機械を10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



⚡ 機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

 機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

・その他

 本機器の使用環境は次のとおりです。
温度：10～32℃
湿度：15～85%
ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

機械使用上の注意

警告

 取扱説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

 この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・ 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- ・ 異常な音やにおいがするとき
- ・ 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・ 機械の内部に水が入ったとき
- ・ 機械が水をかぶったとき
- ・ 機械の部品に損傷があったとき

 機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。
・ 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
・ クリップやホチキスの針などの金属類
・ 重いもの
液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

 電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に機械が押された場合に機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。
用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用して下さい。

 トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

 付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

 Fusing Unit Safety
定着装置は分解しないでください。定着装置内に詰まった紙を取り除く場合には弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

注意

 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高压注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

 機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

 定着装置の安全性について
定着装置を取り外すときには、必ず電源スイッチを切って、40分後、定着装置が冷めていることを確認してから取り外してください。

 機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。
特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

警告

 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本製品内およびトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

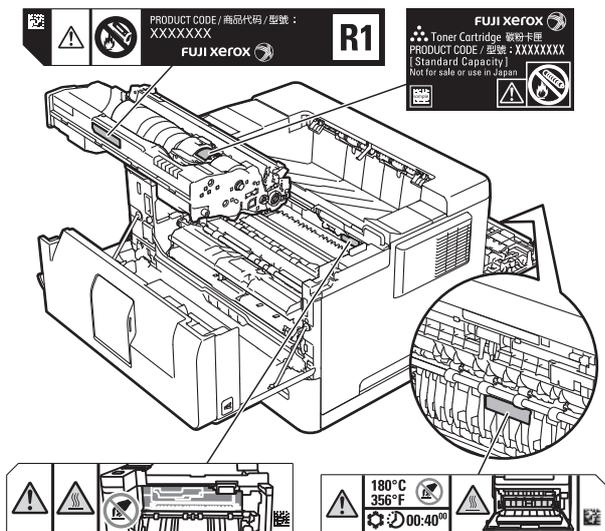
 ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。ドラムカートリッジやトナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- ❗ ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ❗ ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ❗ 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

- ❗ 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



規制について

⚠ 警告

- ❗ 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
 - ・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
 - ・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・化学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ①構内無線局（免許を要する無線局）
 - ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。
- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。
- ❗ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
 - ・その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
- また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本装置（DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d）を使用しないでください。
 - ・ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d）を使用しないでください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

！ 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から12cm以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

！ 埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（DocuPrint 4400 d/DocuPrint 3500 d/DocuPrint 3200 d）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

受信障害について

△ 注意

！ ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることで、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

環境について

- ・回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。

サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ・株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - ・契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ・推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ・役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ・私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

(1) 複製

紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

(2) 改変

紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。

(3) 送信

電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- ・個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として複製する場合。
- ・国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。

- ・学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

無線LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す
（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

商品のお問い合わせ先について

- この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フジゼロックス

フリーダイヤル 0120-66-2209 FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、富士ゼロックスお客様相談センターにお問い合わせください。

TEL:0120-27-4100

受付時間:9時から12時、13時から17時

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

- 富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル **0120-27-4100**

フリーダイヤル受付時間:土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時~12時、13時~17時

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

- 公式サイトで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

<http://www.fujixerox.co.jp>